

会 議 録

会 議 名 (審議会等名)	川西市環境審議会		
事 務 局	市民環境部 環境衛生課		
開 催 日 時	令和元年11月22日(金) 10時00分～12時10分		
開 催 場 所	川西市役所 4階 庁議室		
出 席 者	委 員	木下委員(会長)・中野委員(副会長)・井口委員・武田委員・豊福委員・西村委員・横谷委員・藤本委員・黒田委員	
	事務局	市民環境部長・市民環境部参事兼環境衛生課長・環境衛生課課長補佐・環境衛生課員	
傍 聴 の 可 否	<input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部不可	傍聴者数	0 人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会 議 次 第	【議 事】 ①第2次川西市環境基本計画の進行管理について ②生物多様性ふるさと川西戦略の推進について ③第2次川西市環境基本計画の今後の方向性について		
会 議 結 果	詳細は審議経過のとおり		

審議経過

事務局	<p>定刻になりましたので、ただ今より「令和元年度川西市環境審議会」を開会いたします。</p> <p>本日の司会をさせていただきます、川西市市民環境部環境衛生課の高田でございます。どうぞ、よろしくお願いいたします。</p> <p>皆さまにおかれましてはお忙しい中お集まりいただき、まことにありがとうございます。</p> <p>本審議会につきましては川西市環境審議会規則第3条第2項により委員の過半数が出席しなければ開会できないこととなっております。本日は定員13名に対して8名の方に出席いただいておりますので成立となっております。</p> <p>なお、本審議会は会議公開制度により傍聴できることとなっております。また、会議録を作成するため会議の状況を録音しております。ただし、審議会により非公開を決定したときは、非公開とすることもできますが、公開でよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、資料の確認をさせていただきます。</p> <p>◎資料確認</p> <p>ここで市民環境部長の石田から皆さまへ挨拶を申し上げます。</p> <p>◎石田部長挨拶</p> <p>それでは続きまして、委員の皆さまから簡単に自己紹介をお願いします。</p> <p>◎委員自己紹介</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>事務局の紹介をさせていただきます。</p> <p>◎事務局紹介</p> <p>ここで、市民環境部参事兼環境衛生課長の岡本より本日の会議の概要をご説明申し上げます。</p>
-----	---

審議事項といたしまして3点ございます。1点目が「第2次川西市環境基本計画の進行管理」について、本日お配りしております環境の概況及び第2次川西市環境基本計画進行管理表を基に説明させていただき、委員の皆様のご意見をいただくこととしております。2点目は「生物多様性ふるさと川西戦略の推進」について、平成30年度の実績と令和元年度の推進について事務局から報告させていただき、これにつきましても委員の皆様からご意見をいただくこととしております。そして3点目が「第2次川西市環境基本計画の今後の方向性」についてになります。昨年度もご意見をいただきましたが、改めて計画の進め方について委員の皆様のご意見の忌憚のないご意見を頂戴できればと考えております。本日の会議の概要については以上でございます。どうぞよろしく願いいたします。

それではこれから審議の方に移らせて頂きます。ここからの司会は会長の木下様をお願い致します。木下会長どうぞ宜しくお願い致します。

会長

それでは早速審議事項に入っていきたいと思っております。最初の川西市環境基本計画の進行管理について事務局から説明をお願いいたします。

事務局

進行管理表をご覧ください。この表は毎年担当の課に照会し、進行具合を調査しております。昨年度の審議会において成果や問題点に数字の増減の記載が多かったので、具体的になぜ減ったのかなどを極力書くようお願いしたいというご意見をいただきましたので、各課に極力記載の方をお願いして調査しております。まだ原因が不明な部分もあり、全部を改善出来ておりませんが、今後も進めたいと考えております。まず、進行管理表の中で大きく数値が変化した部分を補足しながらご説明させていただきます。

7番の天然記念物の指定についてですが、毎年一件ずつ社会教育課の方で追加しております。こちらは成果として上げられると考えております。

8番の市道不法投棄物処理量は処理量を少なくする方向を目指しておりますが、増加している状態です。確実ではありませんが、大型ごみの有料化の影響も多少あるのかもしれませんが、2次投棄の防止として捨てられないように看板等を設置しまして今後処理量の減量を積極的に図ってまいりたいとのことです。

26番の文化財をテーマにした講演会・イベントの参加者数は30年度で60人ほど減少しております。原因としましては例年行っている文化財の講演を別の講演で実施したということです。

40番の市の環境関連ホームページアクセス数は29年度と30年度で約半分になっております。こちらはPM2.5が一時期メディアに大きく取り上げられましたが、最近注目度が少なくなってきたのか約1000アクセスほど減少しております。また、補助金の交付が終了し、そのページの削除をしたのも影響していると思います。しかし、30年度には大気汚染のページや市の自然活動団体さんを

紹介するページを追加させていただいております。大きく変わったと考えておりますのが以上になります。

つぎは環境の概況になります。こちらも一部抜粋して紹介いたします。新名神開通後1年間測定を実施できたということで43ページ以降に結果を新たに載せています。市内の産業道路沿いに加茂測定局がありますが、加茂局よりも若干低いぐらいの測定値で環境基準よりも大分低い結果になっています。また、道路開通後の騒音問題もありますが、70ページの7番が新名神沿いで測定結果になります。56dB、54dBと市内の文化財資料館などとあまり変化が無いような状態で、適正な運用が出来ていると考えております。

最後に塩川の砒素に関することです。例年高い値を計測しておりますが、前回の審議会で有機か無機かを分けて、比率を調べることができないかというご意見がありました。現状3社に問い合わせしておりますが、できないという回答になっております。引き続き調査の出来る業者を探して検討していきたいと考えております。

以上になります。会長お願いいたします。

会長

ご説明ありがとうございました。進行管理表と環境の概況についての説明をしていただきました。進行管理表は前回増減ではなく、なぜ減ったのかなど原因が分かるような変更をお願いしましたが、ご意見ありますか。

委員

私も進行管理表の数値だけではわからない部分の回答をお願いしたいというのはその通りだと思います。進行管理表のわずかな文字数では分からないことが、事務局からの説明を聞くとそんな課題があるのだなと分かります。進行管理表の平成30年度の取り組み状況、成果及び問題点のところでは前年度と比較して改善した項目は成果が、悪化した項目については何が原因だったのかを明記していただきたい。原因が一過性なのか継続した問題なのかという判断もしていただければと思います。

進行管理表の8番の不法投棄という大型ごみの有料化の影響という部分と31番の市民1人1日当たりのごみの排出量というのやはり大型ごみの有料化の駆け込みの排出が一段落して、少し市民からのごみの排出が増えてきているということも考えられると思います。

また、コミュニティのアンケートですが、クリーンアップ大作戦の参加者が私の地域は激減しており、地域でも話題になっています。若いパパやママに聞くと、子どもさんの習い事の送迎などで土日が忙しいという声を聞きます。そんなことこそコミュニティの方たちにアンケートで聞いたらもっと詳細な部分に分かります。そういう現象があるからこそどんなことが考えられるのか、行政と地域との連携によって原因が明らかになっていきます。行政と地域がどんな工夫をすれば参加者が増えるのかという所に繋がっていくと思います。そんな基本計画の進行

事務局	<p>の在り方になっていってもらったら嬉しいかなと思っていますのでよろしく願いいたします。</p> <p>さきほど不法投棄に関する大型ごみとの関係についてお話がありましたが、これは議会の方でも議論させていただいた所です。ここの原因の確実性の部分については前置きした上で説明をいたしました。増加原因の一つに災害発生時における災害ごみの混入というものも考えられます。また、家電リサイクルごみがかなり量としては大きくなっています。家電リサイクルごみは大型ごみ有料化以前でも大型ごみとして取り扱う品目ではございませんので直接的に大型ごみと一緒に家電リサイクルのものを不法投棄されているケースもあるかと思えます。中身をもう少し厳密にどういったものが不法投棄されているかという所の議論も必要かという風には考えております。</p>
会長	<p>どうもありがとうございます。ただですね事務局の方は審議会の委員ではございませんので手をあげての発言は控えていただきたい。こちらから指名したときだけにいただきたい。ほかにございますか。</p>
委員	<p>進行管理表もできておりますし、各課が頑張っている状況がよく見えますので感謝したいと思います。</p> <p>地球温暖化対策のところ、川西市は集中豪雨の時にスマホに情報を入れてくださって、とても助かっていますが、あまりにも急に出てきます。週間天気予報では晴れの日なのに集中豪雨と出ます。雨の状況は例えば川西市役所では降っていて、清和台では降ってないとか全く違います。集中豪雨は環境審議会等の温暖化対策に含まれていない新しいテーマだと思えますが、なんらかの形で入れてほしいと思います。また、この地域が集中豪雨ですよと、もし書いていただいたら非常に助かります。</p>
会長	<p>事務局の方、何かご意見を。</p>
事務局	<p>地球温暖化によって災害が頻発しております。川西は河川がすぐ横にあり、北部には山がありますので土砂災害を含めて、特に集中豪雨のところを取り上げいただきましたけど、ご提案の趣旨としては集中豪雨の多い箇所とかを進行管理表の中で明示をしていくといったご提案でしょうか。</p>

委員	晴れなのに集中豪雨の知らせが出てきます。なので、回数だとかそういったものが現れたらなと思います。
事務局	川西市で統計として年間の降水量を記録しています。月毎に記録していますので昨年度と比べこの月は雨量が多いや、この月は警報が何回出てとかの統計資料がございますので可能な限り資料としてお付けすることができるのかなと考えております。
委員	お願いします。
委員	川西の子どもの環境体験学習と森林ボランティア里山保全という項目についてお聞きします。環境体験学習担当は学校教育課が、里山保全の森林ボランティア団体の指導等は産業振興課がされている。この2つは連携が深い項目ですが、学校教育課の担当の方と産業振興課の担当の方の環境体験学習についての打ち合わせ実態は分かりますか。
会長	事務局お願いします。
事務局	それぞれの事業の中で教育委員会部門との打ち合わせですが、なかなか出来ていないというのは実情でございます。
委員	環境体験学習のプログラムを組むうえでボランティア団体との連携は欠かせません。例えば子どもの薪割り体験をする上で、資料のやり取りなどの連携はしっかり取った方がよりスムーズに環境体験の実施が進むと思います。
会長	これはひとつお願いですね。 出来ましたら進行管理表の細かい内容ではなく、環境の長期計画の評価をする上で評価自体がどうかというご意見をいただければと思います。前回の審議会でも2、3行増減だけを書かれているだけでは不十分なので、なぜそうなったなど原因を書いてほしいというご意見がありました。率直な私の意見を言えばあまり改善されていない。事務局の方で説明された気になるポイントなどについては、必ずしも進行管理表の枠内に納める必要はないので、そこだけピックアップして別紙などで説明してほしい。例えば不法投棄で市民の通報は何件ぐらいか、パトロール何件ぐらいあったのか、ゴミの種類などの情報を加えないと解決策には結びつかないと思います。そうすればもう少し深い議論が出てくると思います。
委員	環境の概況の第3章の第5節で地球温暖化についての桜の開花のことが書かれています。これは大事な部分だと思います。台風の巨大化や集中豪雨、一時間雨

	<p>量の増加を昨年から実感しています。それに関するデータを危機管理課がきちんと資料としてホームページへのアップや、冊子にしています。そういうデータを組み入れてもらうとより地球温暖化による桜の開花だけではなく、台風や集中豪雨が私たちの身近にあることを感じられる。だからこそ、どんな手立てを市民自らがやっていくのかということが見えてくると思いますので、そういう項目や資料をどこかに入れていくことも必要ではないかと感じましたので意見として言わせていただきます。</p>
委員	<p>環境の概況の第6章のゴルフ場での使用農薬についてですが、農薬はどんな種類を使っていますか。最近ネオニコチノイド系の農薬が昆虫に大変な影響を与えている。ミツバチが居なくなったり赤トンボも減少したり言われていますが、ネオニコチノイド系の農薬というのは使っているのでしょうか。</p>
事務局	<p>各ゴルフ場から農薬の使用実績を報告いただき、調査しております。農薬の種類は分かりますが、何系かはこの場では申し訳ないが分かりません。また、どういう農薬が該当するのか知見をもっていないのでまたご指導いただければと思います。</p>
委員	<p>まだネオニコチノイド系の農薬は規制がかかっていないと思いますが、外国では使用禁止になっているところも出てきていますので、出来るだけ使用を減らしていただきたい。また、ゴルフ場だけでなく農業関係にも減らすようなことを環境面から言ってほしいと思いますので、よろしくお願いします。</p>
委員	<p>クリーンアップ大作戦の件について、現状は参加者が減少している数字になっています。しかし、私の地域はゴミが無く、非常に綺麗です。それは毎日清掃されているためです。日曜日のクリーンアップ大作戦だけがクリーンアップではありません。それだけではとても間に合いません。日々の清掃の数字が全然表れず、ただ特定の日だけの清掃参加者数が進行管理表の数字になっていると思いますが、それよりも綺麗かどうかが一番大事なことです。土日は用事があって参加できないという意見が沢山ありますので、クリーンアップ大作戦の参加者数の増減より、別の形で表す工夫が必要だと思います。人口が15万人を超えているので参加者が3万5千人ではなく、もっと多いと思います。</p>
会長	<p>なかなか普段というのは数字に表すのは難しい。他にになにか。</p>
委員	<p>環境の概況の13ページの環境配慮指針に歴史的・文化的環境に関する環境配慮指針があります。そこでは「川西の歴史や文化に触れ」や「受け継がれてきた伝統」という記述が沢山ありますが、川西市がキセラの整備にあたって緑税を活</p>

	<p>用した補助金を使った整備をされたということがありますよね。県の花緑検討小委員会の報告書ではキセラでの台場クヌギの整備補助を行った結果をPRしています。しかし、環境の概況の中では23ページにグリーン購入の推進のような10年以上前の内容が載っているだけです。一般的な自治体の報告書の中でグリーン購入のことが今出てくることに違和感があります。キセラで川西市の市民のシンボルとして台場クヌギや菊炭など市の伝統を思い起こさせる新しい活動をやっているのにそのことを一つも書いていない。広報川西なんかでも頑張って最新の情報をどんどん出して、川西市が新しいことに取り組んでいて川西の伝統とかシンボルとか川西の自然環境を思い起こさせるようなことに焦点を当てた新しい情報をどんどん出していらっしゃる中、こんな古い情報を出して、新しい川西のシンボルになるような取り組みを出さないというのはどういうことなのかと思います。</p>
会長	<p>それはいかがですか。</p>
事務局	<p>申し訳ございません。環境の概況は新しい年度の数字を入れて作成しているという形をとっており、その辺りの見直しが出来ておりません。今後その辺もしっかりと見直していきたいと思います。</p>
委員	<p>普通なら10年以上前の話で、定着して当たり前というような取り組みだと思ってももう少し新しい内容を入れるべきではないかと思います。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。</p>
会長	<p>ほかにありますか。</p>
委員	<p>進行表の不法投棄ですが、会長からもお話があったように通報の件数やパトロール件数などのデータが欲しいと思います。また、本当に減らすということと言うと常態化している場所が何件あり、そこをどう減らすかというのが大事だと思います。常態化している場所がどのくらいあって、翌年どうなったか、減らすにはどうすれば良いか。多分されているとは思いますが、その辺りのデータを出しただけだとより分かりやすくなると思います。</p>
会長	<p>多分私と同じような意見だと思いますが、やはり一つ一つのことで本当に減らしたいと思うなら原因を調べるためにどんな場所が具体的にどうなっているや、どんな物が捨てられているのだとか、誰が見つめるのかとか何らかの情報を示す。それでどうするかという話にもっていかないと単に増減だけで終わってしまう。毎年同じことを繰り返すことになります。本当に減らしたい気持ちがあるかどうか</p>

委員

かというのを見せてほしいです。特にポイントとなる所には、次回はピックアップしてもらうことが私は必要なと思います。そうしないと、やはり単に進行管理表で増えた減ったをずっと続けているだけで何も変わらないかもしれない。ちょっと厳しいかもしれませんが。

それから、環境の概況を見ると毎年数字をちょっと弄っているだけで内容は変わっていない所があります。毎年変えるのは大変ですが、例えば4、5年以内で何が重要か大幅見直しをして新しく変えていくことが必要だと思います。

また、前にも言いましたが環境の概況は資料集です。従って、本論が無ければいけない。つまり今年はこのように注目してどうだったと。そういう時にこの環境の概況を見てくださいという風になるので、A4で1枚でも2枚でも良いので本論の所を書いてもらって、この環境の概況を見ながら今年はここが良くなったとか悪くなったから問題であるとか市としての見解を書かないと、どこを見ればいいのか分からない。前年度の環境の概況と見比べてみると数字が少し変わって、新名神のことを触れているだけであまり変わってないし、どこを見ていいのか分からない。

だから、本気でよくしていこうと思うのであれば何が良いか追及していく。全体を見るのではなく、ここを見てほしいというようなものを別に書いていただいてももらわないとよく分からない。市民の方もおそらく同じことだと思います。

先ほどネオニコチノイド系の農薬の話がありました。生態系を脅かすような物が家庭の中でも除草剤という形で随分販売され、使われている方が多いと思います。この概況をみるとゴルフ場だけがターゲットにされているようですが、私たちの身近にそういう物があるという意識が薄く、自分の身の回りを綺麗にしたいので草が生えてこない方が良いとか農薬と分らず除草剤と農薬は別物で、販売しているから大丈夫ということで市民の方たちの中にも浸透されています。しかし、やはり法的にということだけではなく、どんな影響を及ぼすのかということも含めた市民啓発と情報の共有みたいなことが大事なと思います。

また、もう1点が川西市は丁寧にやっているのに何か見えてこないのが残念なのが81から83ページにダイオキシン等の新たな化学物質問題というのでページを割いていただいています。様々なデータも入っていますが、古い建物を解体する時のアスベストの問題があります。今、旧北部処理センターの煙突の解体作業をしていますが、そこでアスベストが出てきました。私もどちらかというとダイオキシンの方が地域住民の関心が高いと思っていましたが、アスベストの問題の方が地域住民の関心があり、工事の説明会の時に若いお父さんやお母さん達から声があがっていました。それに対して市としてもきちんと対応し、工事現場では環境基準だけではなくて、粉塵データの開示やホームページ上でもデータ開示をしています。そういう物も含めた市として実際に対応していますということが進行管理表や環境の概況で出てきたら市民の安心に繋がります。

<p>会長</p>	<p>私たちの身近なところに環境について考える場所が沢山あり、私たちも直ぐに実行できることがありますよというようなPRをしていただいたら、嬉しいと思いますのでよろしくをお願いします。</p> <p>様々な議論を出していただいて、どうもありがとうございました。</p> <p>来年度に作成するときは出た意見を取り入れてもらって本当に無くそう、良くしようというのを見せるような進行管理表や環境の概況を作ってもらったらよいと思います。</p> <p>3番目の方向性のところでもう1度議論するチャンスがあると思いますので審議としては次の項目に移りたいと思います。2番目は生物多様性ふるさと川西戦略の推進についてです。これも事務局から説明があります。</p>
<p>事務局</p>	<p>資料をご覧ください。昨年度の生物多様性ふるさと川西戦略シンポジウムのご報告をさせていただきます。カラー刷りのチラシの内容で開催させていただきました。トークセッションをまず若者の方、次の第2部で企業の方とさせていただき、川西の自然活動団体の皆様、そして今回参加いただいた高校生、企業の方にパネルセッションをしていただきました。来場者としましては160名のかたに参加していただきました。昨年度は自然活動団体のみならず高校生や大学生などの若者や企業の方々に声をかけさせていただきまして自然活動団体と企業、若者の情報共有の輪の作成であったり、その機会の場を作ることが出来たと考えております。</p> <p>お配りしております昨年度のシンポジウムのアンケートをご覧ください。結果を見ますと、第1部の若者の発表が印象的であった、希望が持てた、今後も続けてほしいといった感想が多数ございました。その一方で、来場者が関係者ばかりである、一般の方が参加できる内容がよいといった感想もございました。</p> <p>次に、令和元年度生物多様性ふるさと川西戦略シンポジウム企画書をご覧ください。こちらは今年度、令和2年2月9日日曜日にアステホールで開催します。先ほどのアンケートの結果を受けまして、一般市民の方に川西の里山の良さを知っていただくということを目的に、一般市民に素晴らしい里山の再認識や、新たな発見に繋げるために開催させていただきます。以上です。</p>
<p>会長</p>	<p>どうもありがとうございました。何かご意見ありますか。</p>
<p>委員</p>	<p>昨年もですが、やはり関心のある人しか来ないのが一番の問題だと思います。あんまり関わってない人をこちらに向けるにはどうしたら良いか、私自身もイベントをするときいつも悩んでいます。何か妙案みたいなのはあるでしょうか。ただ待っているだけでは誰も来ません。何か働きかけをしないと来ないと思います。</p>

事務局	<p>通常の広報やホームページ、チラシ等を各関係機関の方で置いていただきまして市民に周知しております。また、自然の活動団体の人にお配りし、知人などにお配りいただけるような形で広く周知して頂く方法があるのかなと思います。このチラシを沢山撒くことで多くの方に来ていただいて、今年は黒川地区の素晴らしさというものに少しでも関心を持っていただき、シンポジウムにも関心を持っていただけたらなと考えております。</p>
委員	<p>せっかく学生がいるので特に高校とか中学校にチラシを回してもらって出来るだけ参加してくれというようなことは言えませんか。</p>
事務局	<p>学校とかその辺にもお配りさせていただいて、お願いしたいと思います。</p>
委員	<p>ただ待っているだけでは昨年と同じように関心のある人しか来ないと思うので、ちょっと行ってみたいと思うような宣伝文句とかがあれば、あんまり私もそんな案は持っていませんが。工夫が必要かなと思います。</p>
委員	<p>東京のボランティア団体が一般公募で木を切りませんかとか丸太を割りませんかとか木工をつくりませんかとか働きかけをして、森林保全でなく森であそびませんかというイベントを組むとバス3台ぐらい来ました。里山を保全するというシンポジウムになると、余程の関心がないと来ないと思います。場所を変えて、子どもも参加出来て自然の中で遊べて、シンポジウムに繋がっていくと良いと思います。先生がおっしゃるように一般の方が多様性に対する問題の意識を高めるために前段階の遊び心をくすぐる。そんな所から入っていくと参加者は増えると思います。</p>
会長	<p>良いご意見だったと思います。確かにこの生物多様性ふるさと川西戦略シンポジウムというタイトルを見るとちょっと普通の人は難しいかもしれません。</p>
委員	<p>冬ですからね。夏ならホテル取りしませんとか出来ますけども。季節に応じた工夫をして人集めるような場所とか企画は難しいでしょうけど。</p>
委員	<p>テーマもあまり面白くない。これを副題にして一般受けするようなテーマにしてやったらどうかと思います。ちょっと硬すぎる感じがする。</p>
委員	<p>私も硬すぎると思います。でも、誰に来てほしいのかという所が明確にならないといけないと思います。例えば講演会をメインにすると親子連れが入りにくくなるかもしれません。だから、先ほど委員もおっしゃたように例えば虫が見えるとか冬なら虫が見えなくても、その写真だとか生態系が書いてあるようなパネル</p>

があるだけでも親子は来ると思います。しかし、そのように来てもらって保育をみられるのか、小学生とかが話を聞いたときにガサガサしますが、それを許せるようなシンポジウムなのかというような所に考え方に差があると少し不満が残ったりします。なので、誰を相手に企画をするのというところに焦点を当てる。例えば、もしも1部に親子連れが来てほしいと思うなら、実際に虫が触れるとか展示物があるとか親子で楽しめるものというのも一つ企画かもしれません。逆に今日はしっかりと話を聞く形を取りますといった整理の在り方がとても大事だと思います。

今県立の一庫公園にも凄い人が来て、キャンプ場も賑わっており、黒川なんかは人ばかりです。子どもたちだけでなく、高齢の方たちも歩いていますので、そんな方たちに来てほしいならば、道々の木の名前のプレート作りだとかも一つあるのかもしれませんが。きっとそこが大切だろうなと思います。硬い川西戦略シンポジウムというのをメインにするならば、そういった人が来るだろうし、例えばこんな虫が川西にもいるよという形のイベントならそういう人たちが呼び込めるだろうなと思います。それによってPRが出来ていく。保育所や認定保育園や幼稚園など沢山あるわけですから、そこにチラシを撒くだけでも、興味のある親子はきっと来てくれるでしょう。ポイントの当て方かなというふうな気がします。

会長

2本立てにしたほうが良さそうな感じですね。確かに生物多様性の名前が入ったようなシンポジウムで活動している人たちを集めて何かするというのは非常に重要なことだと思うし、生物多様性をまったく知らないでただ自然に親しみをもったりした子どもたちと接したいなという人も多いと思います。そこであんまり生物多様性というのを表に出さないで、参加している内に自然を残すことが生物多様性に繋がることをやんわりと子どもたちに教えていく。高校生ぐらいなら生物多様性をかなり高い意識をもって捉えられると思うので、高校生はシンポジウムのポスターセッションに出てもらうような仕組みですね、出来るだけ高校生の団体を出してもらうようにすると、友達なんかも沢山やってくるかもしれない。

委員

私もコミュニティで行事をやる時に子どもや一般の人を集めるのはとても苦労しています。毎年黒川で自然体験をやっていますが、結構来ます。だけど、現実的に考えたら教育委員会と相談して夏休みの課題の一つとして「川西の里山を知って」をテーマにしたような夏休みの宿題を出すのもひとつの方法だと思います。難しいタイトルではなく、優しいタイトルにして参加したら夏休みの宿題が一つ解決するような。どこかの学校が取り上げると注目を集めると思います。これは学校と相談しないとなかなか難しいですが、保護者付きで来てもらえるといます。教育委員会との相談のテーマですけど、どこかの学校が手を挙げてくれたらかなり良いと思います。

委員	<p>先週大阪の自然史博物館で自然史フェスティバルがありました。いろんな自然系の団体がブースを出して工作やいろんな作業をさせて、そこには子どもが沢山来ていました。自然史博物館で開催したというのものもあるかもしれないが、見せるだけでなく触れるというのは凄く来てくれると思います。</p>
委員	<p>加えると六甲山でイベントする場合一番人気なのは昆虫です。生物多様性と昆虫は大変繋がりが深いし、昆虫というと子どもが来ますので、その会場でシンポジウムをするのが良いかは別にしましても、その辺の工夫を付ければ人は来ると思います。</p>
委員	<p>今回は無理にしても次は何か考えていただけると良いかなと思います。</p>
委員	<p>これはホームページでも紹介されますか。</p>
事務局	<p>します。</p>
委員	<p>このセッションのタイトルを見ると一般の人はなかなか敷居が高いので難しいと思います。多数のボランティア団体が参加されているので、年間を通じて開催される市民が参加できるようなイベントをリストアップしていただいて、例えば春休みに自然体験できるのがどれだけあるのか、夏休みにどれだけあるのかという資料をシンポジウムを中心にリスト化して、教育委員会などとコラボできたら良いと思います。広げていけると一般市民の裾野が広がっていくのではと思います。</p>
会長	<p>良いと思いますね。川西の生物多様性が中心になり様々な情報も与えるということですね。まとめ役というのは元々の目的の一つだと思うので。</p> <p>私も色々観察会とか開催していますが、人集めはほんとに大変です。前に一庫公園で観察会があり、5歳ぐらいの結構小さい子どもや小学校2、3年ぐらいの家族連れで来て虫探しをしました。子どもも喜ぶし、親も喜んでいました。単なる講演だけじゃなくてそのような会を様々なボランティア団体と協力して行うと良いかもしれませんね。</p> <p>それではこれはこのぐらいでまた検討していただくとして、次の議題の方に移りたいと思います。第2次川西市環境基本計画の今後の方向性についてです。これも事務局の方から説明があります。</p>
事務局	<p>冊子で第2次川西市環境基本計画をお配りしておりますが、第4章33ページ以降に地域ごとの環境配慮指針示しております。前回の審議会で環境配慮指針をどう評価するのかという話があった中で、各コミュニティが環境に対してどのよ</p>

	<p>うな事をしているか、今後どうしているかを考えているのかまとめることが出来ないかというのをご意見いただきましたので、アンケートをさせていただきました。裏側が質問内容でして、付けているのがアンケート結果になります。中身を見させていただくと日常に密着しているゴミとか草刈りなどがメインになってきて、環境配慮指針で示すような活動というのは物理的なこともあり難しいのが現状になっています。</p> <p>なので、この指針というのをどのように評価していくかというのを少しご意見いただいて、事務局の方で検討させていただきたいと思っております。ご意見の方をお願いしたいとおもっております。</p>
会長	<p>どうもありがとうございました。せっかくアンケートを取ったのなら地域別にまとめてもらうと分かりやすいと思います。</p>
事務局	<p>そうですね、今後伝えさせていただくときはそうさせていただきたいと思いません。</p>
会長	<p>これは難しい問題です。まずは環境配慮指針を見ると市民、事業者、農業従事者っていうのが出てきます。北部の地域を見ると、様々な環境学習にこれだけ参加するとかを調べることも出来るかもしれません。手がかりがないのでなにも言えないですが。</p>
委員	<p>まず、何をしたいのかが分からない。例えば、第2次川西市環境基本計画の中間評価をしたいというのであれば話は別ですが、このアンケートで聞きたいのか、位置づけが分からない。少なくとも第2次川西市環境基本計画自体はよく出来ていると思いますが、このアンケートはどのような位置づけですか。</p>
事務局	<p>中間という意識ではなく、理想としては進行管理表のようなものが出来ればと思っております。その足掛かりの一つとコミュニティではどのような事しているのかというものを調べさせていただきました。前回の審議会でそのような意見が出ましたので。</p>
委員	<p>先ほどの生物多様性の話でも2月9日に実施するのであれば、もう全て手配が出来ていてその方法についてこれでよろしいかというのなら分かりますが、予算の問題もあるので今頃言っても間に合わないことが多いですね。</p> <p>アンケートについてもコミュニティ会長に聞いた内容が粗い質問項目しかないなので、このような感想を聞いてこれをどういう風に組み込むのかという何の位置づけもなく、いきなり審議会に出したところでどういう結果を期待されているのかなと思います。</p>

事務局	<p>コミュニティの結果はまとめさせていただいて、環境の概況にも載せさせてもらおうかとまず考えております。こういう配慮指針が委員会とかで他の所はこういう風にしていきますとかヒントとしてもいただければと思っております。</p>
委員	<p>いきなり感想に近いものを第2次環境基本計画と結び付けて議論して下さいと言われても、分類もグラフもあるわけではなく、要望と現状が少し書いてあるだけです。どう整理すれば良いのでしょうか。</p>
事務局	<p>環境基本計画の46ページ以降に北部地区や南部地区などの地域の取り組みが書かれていますが、実際どういう取り組みをされているかという意見が前回の審議会に出たと思います。それに対してなかなかその地区の実際の環境の取り組みというのが把握しにくいということがありました。川西には14コミュニティがあり、市内全域を網羅しておりますので、コミュニティは環境に対してどのような取り組みをしているかという形で今回アンケート調査をさせていただいた形になります。</p>
委員	<p>それなら少なくともこのアンケート結果を地域別に分けないといけないんじゃないですか。</p>
事務局	<p>そうですね。</p>
委員	<p>分類もしないで話をされても、求める結果と凄く距離があると思います。</p>
事務局	<p>その辺は整理させていただいて、また環境の概況の方に掲載を考えております。</p>
委員	<p>アンケート調査が14コミュニティであれば、その14コミュニティがどこの地域に所属していて各地域にどんな要望とかどんな現状があるのか整理した上でどうですかと聞かないと感想文に近いものを出されたって言いようが無いと思います。</p>
事務局	<p>その辺は整理して、まとめさせていただきます。</p>
会長	<p>質問項目も非常に抽象的ですね。環境について取り組まれていることがありますかという設問に対して何を書いていいのか考えてしまいます。その次は今後環境に対して取り組みたいことはありますかとなっていますが、よく分からない。何を意図しているアンケートなのかわかりづらい感じがします。</p> <p>進行管理表に相当するものを地域ごとに作りたいのであれば、数値として出そうとすると、地域によってそれぞれ違います。過去にどんな数値がずっと取られ</p>

	<p>ているか、そういうのを調べた上でこれは進行管理表に使えるという案を幾つか挙げていただいて、それについて審議会で議論するという形なら良いと思います。アンケート結果と川西市環境基本計画を見て考えろと言われても何をしたいのか分からないというのが正直なところです。せっかく川西市環境基本計画の地域別環境配慮指針というのが画期的で、各地域が何をしていけば良いか書いたのなら、それぞれが進んでいるのか分かるようなものを出してほしい。まずは叩き台でこういうのが出来ますよというのを出してもらって、それについて審議してくださいということであれば十分出来ると思います。</p>
<p>委員</p>	<p>コミュニティの意見を会長と副会長が代弁をさせていただいてとても感謝しております。まさに今ご指摘のあった通り、このような設問の出し方では地域が関心を持ちません。地域別の環境配慮指針は私も提案した1人ですが、これは非常によかったと思います。地域別にどんな課題があるのか市としてはどんな地域の方向性を目指すのかというのを地域で相談させていただいて盛りあげてほしい。飛行機が飛んでいる所は騒音問題など地域の環境というのはそれぞれ違います。まず川西市が様々な問題をご存じなので、こういう取り組みをしませんかと提案をしてほしい。会長がそれを代弁していただきましたが、私は現場の責任者としてはそう思います。こういう環境問題に取り組みれば助成金を出すよというのを付録としてつけていただいて盛り上げを応援していただいたらと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>アンケートの取り方という所で確認ですが、先ほど事務局の方がそれぞれの地区の取り組みを聞きたいという目的があったととても大事な部分だと思いますが、コミュニティにお願いをするときにはこのアンケート表とこの基本計画の33ページからのそれぞれの地域の所を含めて資料として付けられて、目的も明確に書いてお伝えしているということによろしいですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>コミュニティの連合会の会議で説明させていただいて、地域はどういう風な環境に取り組みされているかということをお伺いしたいという風な形でアンケートをお渡ししております。</p>
<p>委員</p>	<p>私はこのアンケートを見たとき、今年度の川西クリーンアップ大作戦に参加されましたかというのが第1設問になっているのでその後の2、3、4もゴミに関わる内容という印象を受けました。改めて聞いて、明確な説明が無ければ、こんな回答になると思います。きちんと回答されている所もあるけれど、何を目的に何を聞きたいのかということが明確でなければ書きにくいです。実際にはそれぞれの地域で色んなことが話し合われています。私は丸山台ですから住宅の環境をどう守るのか、生け垣はセメントで固めないで植え込みにしようとか、何でもシートを貼らないという話は日常的にあります。そのような工夫をなぜするのが</p>

	<p>47ページの北部の北地域に明確に具体例を書いているのに、それが伝わらないでアンケートというのはあまりにも乱暴で、設問の在り方もどうかと思います。折角この審議会ですべての地域の取り組みを聞きたい、地域別環境配慮指針に応じて聞きたいならば明確に伝えてアンケートをお願いしたら、こんな結果にはならなかったらと思う。改めて前回の審議会での目的を明確にした上で取り直しも含めて考えればいいと思います。</p>
会長	<p>どうもありがとうございました。</p>
委員	<p>僕も皆様が言うておられることに賛同します。やっぱりそれぞれ地域別配慮指針があるので、設問も地域別に変えてやらないと評価しようがない。地域で進んでいるか判断のしようがないので、地域別環境配慮指針を設けているので、それに対する設問を作ってアンケートを取れば、もう少し具体的になると思います。</p>
会長	<p>職員の方が出かけられてコミュニティの人と会ってインタビューをして、どんな評価をしたら良いだろうかと話聞いてまとめた方が成果をあげられるかもしれない。紙で書くと面倒くさいというのもあるし、趣旨が伝わらないというのもあるし、うまく情報を取り出すというのは難しいと思います。足で稼いだらどうでしょうか。私は良いと思います。やっぱりちょっと具体的な所まで持ってきてもらわないと審議会としては審議のしようがない。</p> <p>もう一度最初の議題に戻って進行管理表、環境の概況その辺りでもご意見がありましたらどうぞ。</p>
委員	<p>良い計画を立てていただいて、これが形になって来たら嬉しいなと思います。気になるのが、私は日生ニュータウンで、新しい住宅団地にいます。例えば基本計画の51ページ市民がなすべき所で近所迷惑になるような騒音を出さないよう気をつけましょうという文言があります。色んな市議会の傍聴や会合に出ると今は子どもの泣き声も騒音だと言われます。お隣で赤ちゃんが泣くと虐待ではないかと警察に通報をされたということもあり、騒音ということに対して過敏な反応があります。だから、それがお隣に保育所を立ててもらったら困るというような声になり、とても過敏な反応をされるような事があつたりと、地域では少し話題になったりしています。ピリピリとする地域じゃなくて相手を受け入れていく、少し寛容な地域を作っていくということも一つあるのかなと思います。例えば認知が進んだ方が奇声を発する多動になるとか結構あります。その方たちだけじゃなくて、そのご家族を含めてピリピリし始めるというようなことにならないような地域を作っていくことが、私は上質な住環境だろうなと思っていますので、そんなことも配慮をしながら計画を進めていけたらなと思っています。だから、こうなさいということではないが、相手をリスペクトして寛容に受け止めていく</p>

	<p>ことも発信をしていきたいなと思っています。</p>
委員	<p>ゴミの減量に関してですが、市民のゴミの一人当たりの数字は事業系のゴミを除いた家庭のゴミだけが増えているということですか。事業系のごみは入っていないですか。</p>
事務局	<p>入っておりませんが、増えております。</p>
委員	<p>川西のゴミ処理はどのような形でしていますか。</p>
事務局	<p>収集は市の方でして、処理については国崎クリーンセンターで行っております。その排出基準に基づいて、ごみの搬入をさせて頂いております。</p>
委員	<p>事業系ごみはまた別ですか。</p>
事務局	<p>基本的には事業系は別の許可をもった業者が国崎クリーンセンターに直接搬入します。</p>
委員	<p>ゴミの減量のこと、一つコマーシャルをしておきます。私たちは毎年フェスティバルを開催していますが、数千人以上の人が集まってきます。いつも終わるとごみの山になるので、ごみを持ち帰りましょうという提案をしました。これについては多くの議論をし、今年に実行しまして大きな成果がありました。良い結果が出たので、今後も続けていきたいと思っております。そのようなことはしておりますので、何か提案をいただければ、皆で協議できるテーマがあれば助かると思います。これはコマーシャルなのであんまり気にしないでください。</p>
委員	<p>私は活動柄里山保全に大変興味があります。進行管理表の1番の里山保全の対策がボランティア登録数と森のインストラクターの数を増やすと書いていますが、現状認識が出来ていないと思います。</p> <p>そこで、今日は皆さんに見て頂くとのことでメモを書いて来ました。川西北部の市民ボランティア団体の「虫生川周辺の自然を守る会」と国崎の「ゆめほたる」と黒川の「菊炭友の会」の3つに限っての話になりますが、この3つとも抱えている問題は会員の高齢化と減少です。これを解決しないと活動が出来ない、里山保全が出来ないということになります。対策として自身のホームページでの新規会員の募集をしていますが、なかなか集まりません。川西市の市民ボランティア団体は非常に多くあるし、活動も兵庫県下では大変優秀な活動をしています、どこも高齢化と減少に悩んでおります。そこで、市の広報でそれぞれの活動の内容や活動日などを出してもらってより皆に周知する後方支援をお願いしたい。</p>

また、ゆめほたるの場合は別ですが、他は電気の設備がありません。冬は寒いし、夏は暑いし、発電機で扇風機を付けも2つぐらいで消えてしまう。これもボランティア団体から申請すると許可が出ませんが、活動基地の小屋に電線が仮設されると大変関係が良くなると思います。夏場に暑い所で活動しているのを見るとなかなか参加されないの、活動の快適性が上がると会員も増えるのではと思います。こういうことを市や公的な団体が支援できないかなと思います。それから、水道の問題などそういう問題は各団体ではどうしようもない問題なので、水道課が特別配慮でできるような工夫ができないかなと思います。様々な問題点を市が活動団体から吸い上げる場を設けていただくとより一層団体の活動も活発になり、会員も増えると思います。ひいては、川西市の里山を保全することに繋がると思うので書かせてもらいました。

それと進行管理表の42番からの環境体験学習についてですが、子どもたちの環境教育というのは川西の大事なことだと思います。私は清和台や清和台南、緑台、牧の台小学校の活動や、清和台中学校のトライヤルを含めた受け入れをしていますが、会員の減少や高齢化になるとついていけなくなります。また、小学校によって環境体験の内容に質のバラつきが非常にあります。例えば、同じ3年生でもそこに居るからこれが出来て、そこに居るから全く知らないということが現在あります。なので、市の教育委員会などそういう所とボランティア団体がよく擦り合わせて北部地区の3年生、4年生はこれでいくと大きな指針を与えたらそれに対してボランティアが動くというような工夫もあつたら良いと思います。

進行管理表の2番の森のインストラクター数を増やしたら里山保全ができるかという問題もあります。言葉尻ですが、森のインストラクターと森林インストラクターという言葉があります。私は森林インストラクターという言葉は知っていますが、森のインストラクターは知りません。どっちが適切なのという事も含めて審議が足りないと思います。

会長

前から気になっていることで、森のインストラクターっていうのは何でしたか。

委員

私が知っている限りは分からない。

会長

良く分からない。しかし、いずれにしても1人しか居ないとすると統計的な価値はほとんどないですね。

委員

ですから、里山保全するのに実際活動しているボランティア団体の問題点がどこにあるかっていうことをしっかり掴んで、個別に対応するというのが里山保全の一番の効果に繋がると思います。

会長

様々な団体が抱えている問題をうまく吸い上げる。集まってもらってそう

	<p>いこうのを出してもらうのは必要かもしれません。</p>
委員	<p>これはどこも同じ問題を抱えています。若い人に関心を持ってもらう以外に方法がないと思います。大阪もそうだし、兵庫県もそうです。</p>
委員	<p>活動団体の環境整備に市が何かできませんか。水とか電気とかが一番大きな問題です。水も電気も無いと参加する気にならない。それはボランティア団体ではどうしようもない問題ですので、市なんかがサポートできないかなと思います。</p>
会長	<p>市の考えはどうですか。サポートするような、或いはそれを吸い上げるような。</p>
事務局	<p>市としましても活動団体さんの方との連携も、シンポジウムという所でお声がけさせていただいてお話している程度です。個々の団体が実際どんな活動をしているかというの把握が出来ていない現状です。里山の関係で言うと市内6団体に補助金を交付しています。各団体がどのような要望をお持ちなのかというのなかなか把握出来ていないということもありますので、その辺の連絡を密にして団体のご意見をお聞きできればと思っております。</p>
会長	<p>せっかく今度シンポジウムがあるのであれば、終わってから会合を持つとか、そういうのはいかがでしょうね。</p>
事務局	<p>そうですね。</p>
会長	<p>色んな問題、特に高齢化というのはどうしようもないですが、例えばホームページとか情報発信するとか市も協力していただくことは可能だと思います。</p>
事務局	<p>ホームページをお持ちの団体とかでしたら、市の方ホームページでリンクして団体紹介とかは可能だと思います。</p>
委員	<p>進行管理表の31番に市民1人1日あたりのごみの排出量が前年度よりも8g増えたと書いてありますが、全体的には928グラムから毎年減ってはいます。たまたま29年度に比べると8g増えましたが、振れがある中、10年前から比べると減少しているのに文章で8g増加しただけ書かれるのはどうかと思います。マイナス100グラムを目指してスタートしている中で、実際に増えたから良くないと思いますが、全体としては減少傾向にあるので、その辺の説明があるのと良いと思います。</p> <p>また、進行管理表の32番に再生資源集団回収登録団体数が168、165、164と減少とありますが、私が美化推進課からもらっている資料は逆に163、</p>

事務局	<p>165、167と増加しているので合いません。私的には団体数は増えていると思いますので、資料の確認をお願いします。</p> <p>私どもの各課それぞれにお願いをして、課から答えをいただいている形になっております。そのところを確認して正しい数字を書くようにいたします。</p>
委員	<p>本当は最初に言わないといけなかったですが、ごみの減量という形で審議会をやっておりますので資料の確認をお願いします。大型ごみが出た時だけ増加しておりますけども、ゴミの量的には減少傾向です。ごみ量が増加しただけ書かれると少し語弊がある。</p> <p>さきほどもご質問がありましたが、なぜ家庭ごみだけここにあるかということですが、川西は特徴として8割方が家庭ごみで事業ごみは2割ぐらいしかない。また、事業ごみ量自体はそんなに変化していない状態です。なので、地域によって家庭ごみと事業ごみというのは割合が違うかもしれませんが、家庭ごみだけ100g減らしたら全体的に減ります。川西の場合はほとんど家庭ごみだけで影響を受けますので、減量の目標というのをやっております。</p>
会長	<p>たしかに8g増加したというのはおかしいですね。</p>
委員	<p>マイナス100gを目指す中で8gは大きいと言えば大きいですが、全体的には右下がりの傾向にあります。</p>
会長	<p>事実ではあるけど、ここに特記して書くのは表現を改めてもらえると良いと思います。また、団体数に関してはもう一度調べてください。</p>
委員	<p>10年前と比べたら川西市はごみが大分減っています。先ほどご説明であったように、平成30年度は大阪北部の集中豪雨と台風被害の災害ごみが増えています。なので、災害ごみがどのくらい増えた結果8g増えましたという部分があると思います。また、平成28年度の5月から大型ごみが有料化したことによって、明確にデータとして増えたのち、減っているという状況があります。現況の3年間だけ見ると川西市のごみが凄く増加しているように見えますが、違うということは明確に表していただきたい。市民的にも努力しているのにという部分がありますので災害ごみがどのくらい増えたからその影響を受けているというデータも説明の所があれば誤解が減るのではないかと思いますので、よろしくをお願いします。</p>
会長	<p>ひとつひとつの項目が本当はストーリーを持っており、書かれるべき問題が多くあり、それを進行管理表の限られた枠の中で書くというところに弊害が出てきていると思います。市民として見たときに気になる項目というのは別の書類を作</p>

成していただくとその質問も大分少なくなり、分かると思います。その辺を努力していただけると良いなと思います。

色々と宿題を市の方に出しましたが、特に地域別環境配慮指針の問題は今回このような画期的なことをどう評価して、どう進めていくかというのは非常に重要です。ただ書いて良いのが出来たで終わってしまうと何の為に計画を作成したのかとなってしまいます。少し地域に特有の問題もあるだろうし、地域的に何を見ていけばいいのか。コミュニティの方とかと相談をしつつ、案を出していただいて、それを審議会で議論するという形にもって行って頂かないとなかなか進まないと思います。

委員

ごみについて、特に社会的に新聞やテレビ等で問題にされているビニールごみについてです。川西市でも色んな商店でお客様に物品をビニール袋に入れて渡しているが、そういう所を改善してほしい。ビニールは海洋汚染にも繋がり、魚が食べて解剖したらビニール袋が沢山出てきたということがマスコミで語られています。ビニールごみを減らし、紙とかに切り替えていくという方向性が大切なことだと思います。商店ではビニール袋を持参すればそこに物品を入れるが、無ければ紙袋のようなものに入れてお渡しするというように、ビニールごみの減量に取り組まれることが大切なことだと思います。川西市だけの問題ではないが、川に流れているごみや、色んな所でバーベキューをして出たごみを見ているとビニールごみが沢山あります。それが猪名川に沿って流れてしまう。ビニール袋は個人が持ってきて入れてくださいというのは良いが、商店では入れないというような規約を川西市でもした方が良いのではないのでしょうか。可燃性ごみで焼却が出来、問題が起こらないような袋を利用するというのも事業者に対する指導として大切なことではないのかなと思います。

会長

どうもありがとうございます。4月からは無くなりますかね。逆に言うと、あれだけ普及したというのはやっぱり便利だったからですね。皆持ってこいと言われると多く持ってない人もいるし、やっぱり変わるべき物があればそちらの方に多少お金がかかっても、そちらの方が良いなら必然的に変わっていくでしょうけど。

だいたい2時間ぐらい経過しまして、予定していた時間になります。他にありませんでしょうか。なければ終了いたします。ありがとうございました。